

人口移動が信用金庫の収益性に与える影響について

What effects do migrations among regions in Japan have on Shinkin bank's profitability?

大阪産業大学 石橋 尚平

信用金庫の営業区域への人口移動がどのような影響を及ぼすかを知るために、まず総務省による「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」から、各市区町村における超過転入数のデータをダウンロードした。このデータを信用金庫の営業区域の市町村名で名寄せして、信用金庫の営業区域への超過転入率のデータ・セットを作成した。作成した代理変数RNM(超過転入率)を「全体」(RNM_ALL)、「生産年齢」(RNM_WAP)、「若年層」(RNM_FRESHMEN)、「壮年層」(RNM_PWAP)に区分し、それぞれをマークアップ率、実効経常利益率と2通りの被説明変数を用いたモデル式を推計した。

その結果、ある年齢層の超過転入率が信用金庫のマークアップ率に影響を及ぼすことが示された。次に東京ならびに千葉市、さいたま市、横浜市などの中核都市と、地方から東京への流出を堰止める Dam Cities(札幌市、仙台市、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市)を営業区域とする信用金庫を1としたダミー変数を含めたモデル式を推計した。その結果、一部の Dam Cities で人口の超過転入が信用金庫の収益性に影響を及ぼしていることが分かった。